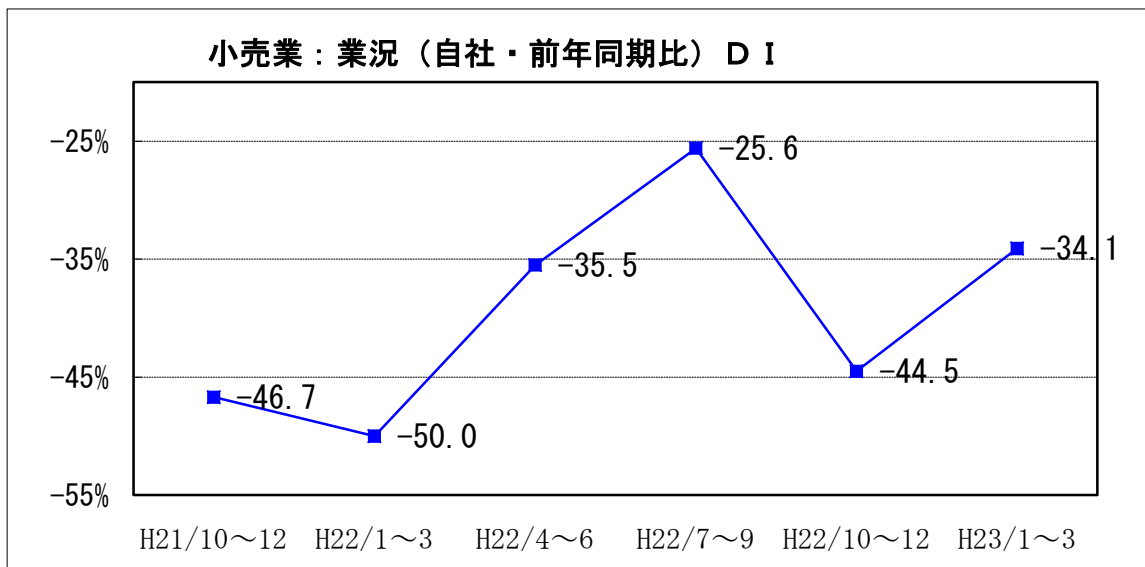


4. 小売業の動向

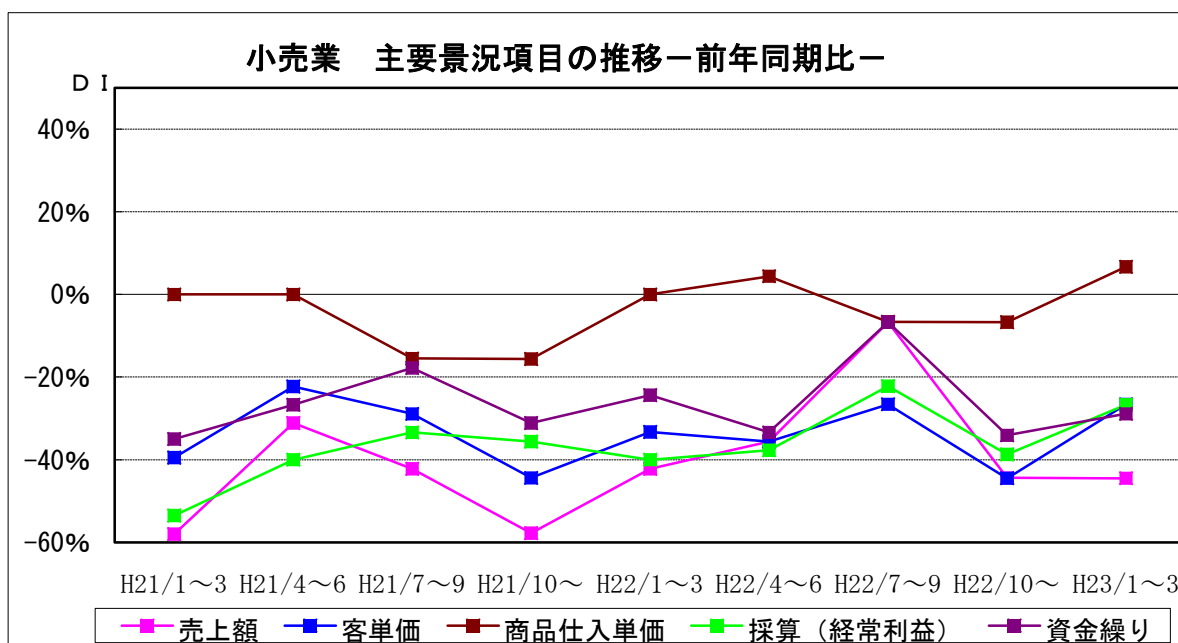
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス34.1。前期のマイナス44.5から10.4ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス35.7とほぼ横ばいの見込み。



小売業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

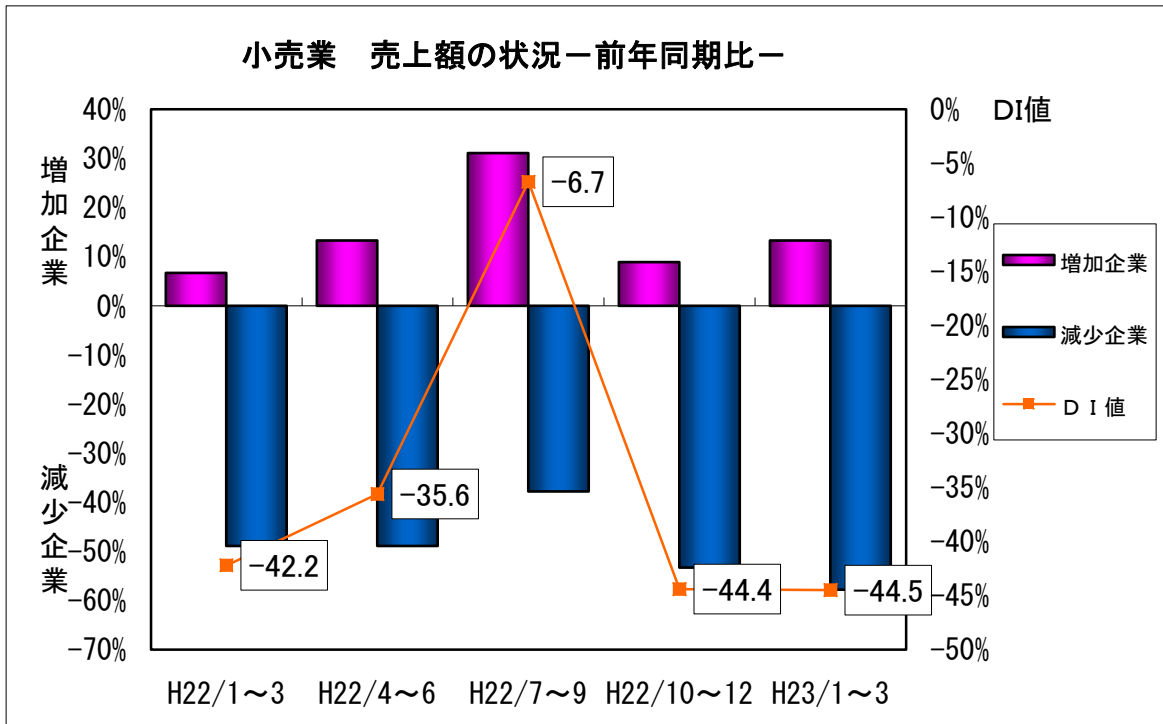
	前々期 (22年7月~9月)	前期(A) (22年10月~12月)	今期(B) (23年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上額	▲6.7	▲44.4	▲44.5	▲0.1	▲28.8
客単価	▲26.6	▲44.5	▲26.6	▲17.9	▲24.5
商品仕入単価	▲6.6	▲6.7	6.7	13.4	11.4
採算（経常利益）	▲22.2	▲38.7	▲26.7	▲12.0	▲34.1
資金繰り	▲6.7	▲34.1	▲28.9	▲5.2	▲28.9



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

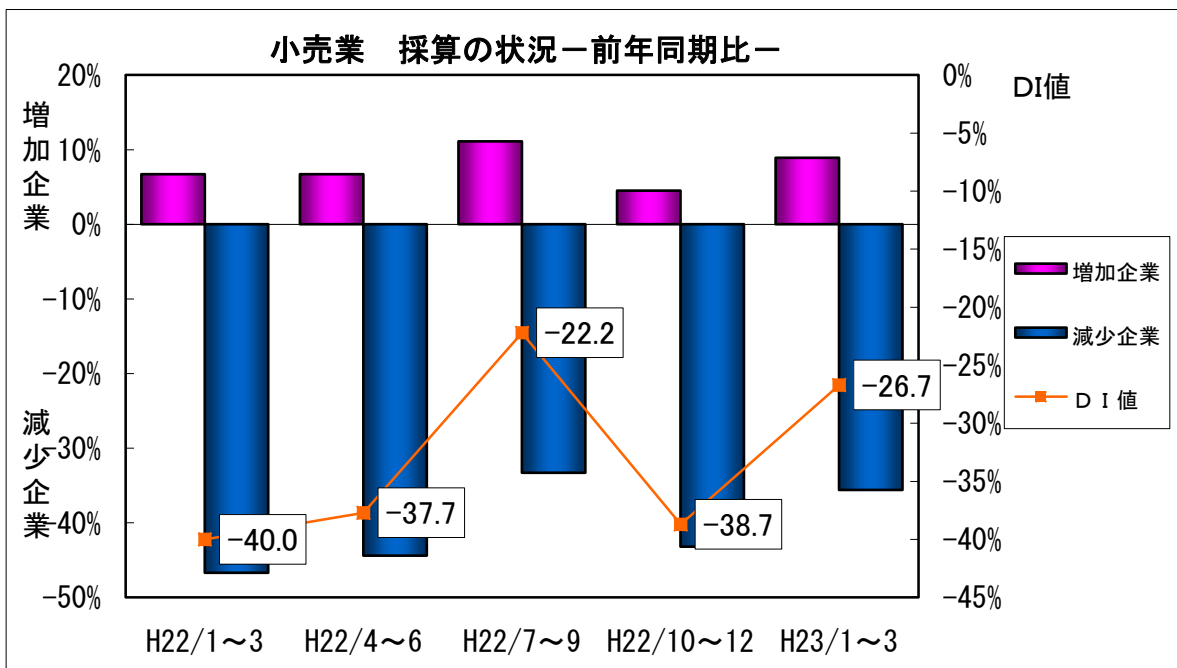
①売上額（前年同期比）

今期の売上額DI値は、マイナス44.5。前期のマイナス44.4から0.1ポイント下落、ほぼ横ばい。来期見通しは、マイナス28.8と大幅に回復する見込み。



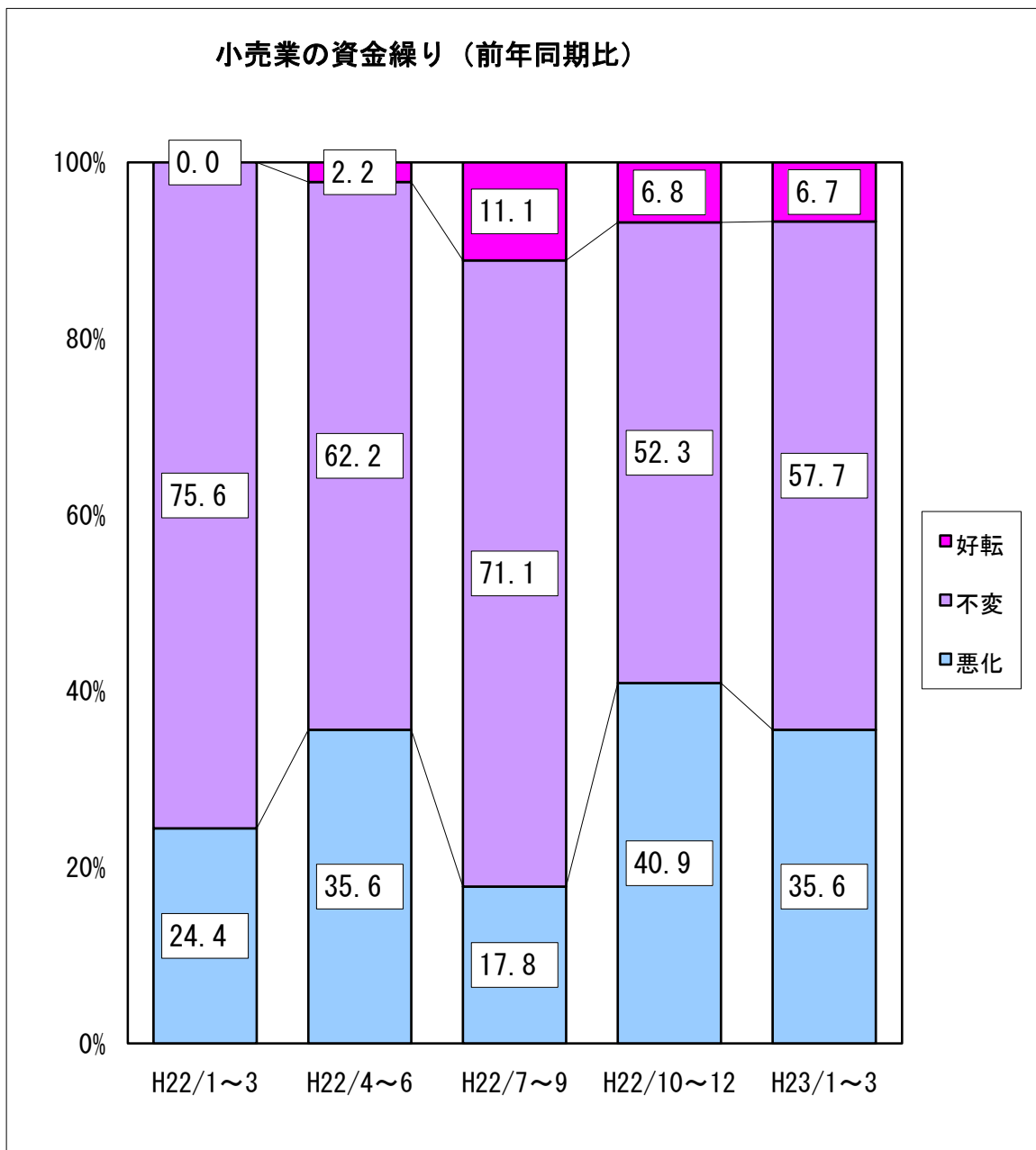
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス26.7。前期のマイナス38.7から12ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス34.1と小幅な悪化の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 28.9。前期のマイナス 34.1 から 5.2 ポイント上昇、小幅な回復。来期見通しはマイナス 28.9 と横ばいの見込み。

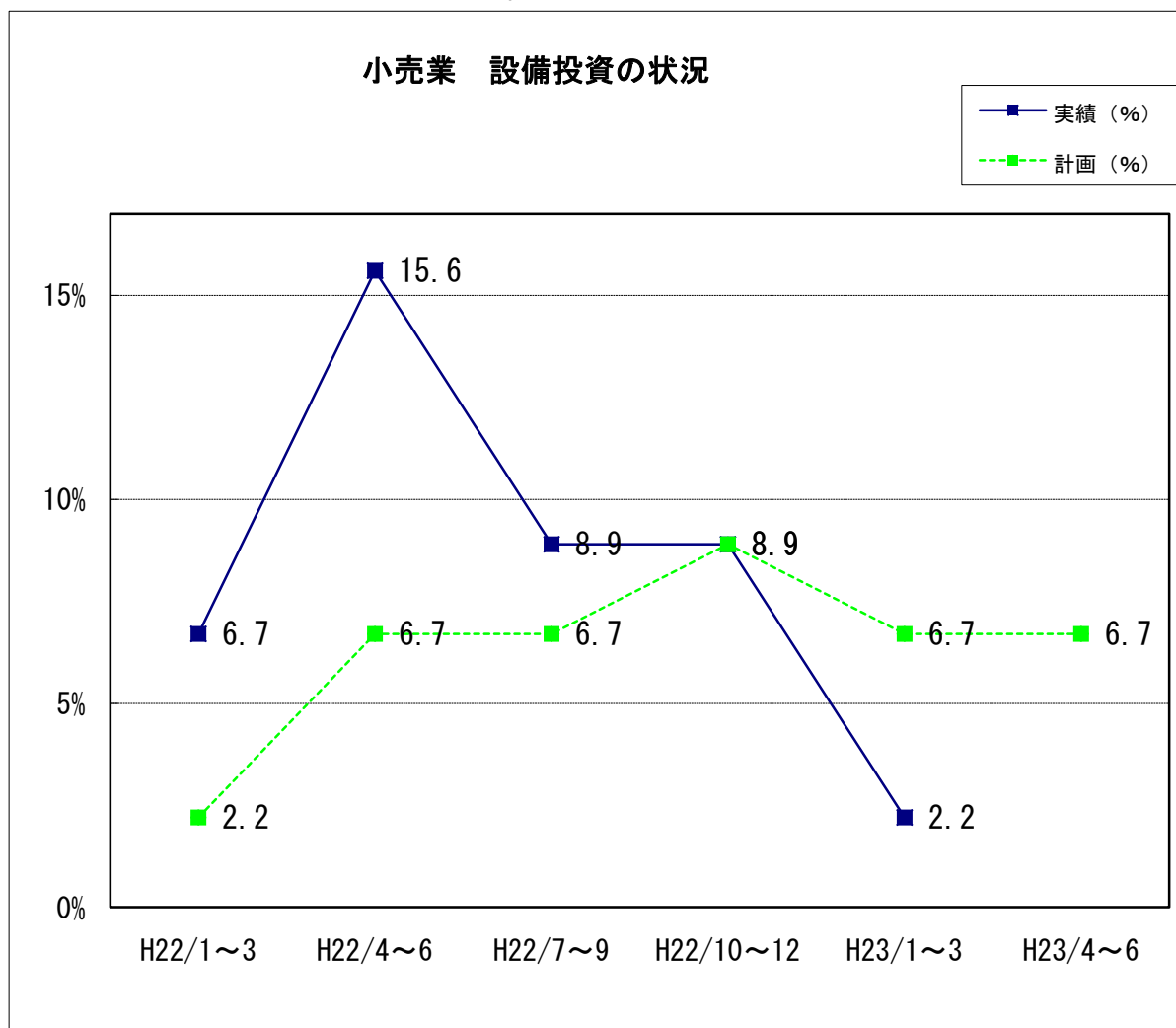


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	店 舗	販売設備	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	4	0	1	1	2	0	0	0	0	41
(%)	8.9	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.1
今期実施 (実数)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	44
(%)	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	97.8
来期計画 (実数)	3	0	2	2	0	1	1	0	0	42
(%)	6.7	0.0	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	93.3

今期設備投資を実施した企業は1社(2.2%)。前期(平成22年10~12月期)の実施企業4社(8.9%)から大幅に下落。来期は3社(6.7%)が、店舗、販売設備、付帯施設、OA機器への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 61.4%→今期 63.6%)
- ・ 「購買力の他地域への流出」 (前期 52.3%→今期 56.8%)
- ・ 「消費者ニーズの変化」 (前期 34.1%→今期 36.4%)
- ・ 「販売単価の低下、上昇難」 (前期 20.5%→今期 18.2%)

となっている。

